

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 市民一人ひとりが共につくるまち

施策番号・名 02 地域コミュニティの振興

基本事業番号・名 02-03 地域間交流の推進

事務事業番号	所管課係名		対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)				
	事務事業名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)			
02-03-01	生活文化課 地域コミュニティ担当	対象	市民	平成21年度 116,579 (人)	住民基本台帳登録人口(外国人登録者を含む・1月1日現在)	平成21年度 5 (回)	職員相互訪問回数	平成21年度 (人)	平成21年度 121	平成21年度 605	平成21年度 726	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)		
	地域間交流事業	手段	高崎市榛名地域と協定に基づく地域間交流事業を実施	平成20年度 116,117 (人)		平成20年度 5 (回)		平成20年度 (人)	平成20年度 142	平成20年度 593	平成20年度 735	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 生活文化課 木暮 昭	23年度以降に向けた方向性		現状維持	
		意図	榛名地域を第二のふるさととして交流してもらおう。	平成19年度 115,996 (人)		平成19年度 7 (回)		平成19年度 (人)	平成19年度 165	平成19年度 2,465	平成19年度 2,630	高崎市との合併後、市の一部エリアを対象とした行政間の交流は方向性が見えにくくなっている。その一方で、20年続いた姉妹都市交流の経過から、市民同士の交流は継続しており、これを地域間交流としてどう位置づけるか検討する必要がある。		地域間交流として継続実施していくが、高崎市において都市間交流の考え方を整理中と聞いているので、その動向を見守る。				
				平成19年度 (人)		平成19年度 (回)		平成19年度 (人)	平成19年度 (人)	平成19年度 (人)	平成19年度 (人)	平成19年度 (人)						
02-03-02	生活文化課 地域コミュニティ担当	対象	市民	平成21年度 116,579 (人)	住民基本台帳登録人口(外国人登録者を含む・1月1日現在)	平成21年度 13 (回)	助成制度適用宿泊施設数	平成21年度 (件)	平成21年度 296	平成21年度 908	平成21年度 1,204	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)		
	地域間交流宿泊施設利用助成事業	手段	榛名地域の宿泊施設と協定を結び、市民の宿泊費の一部を助成する。	平成20年度 116,117 (人)		平成20年度 13 (回)		平成20年度 (件)	平成20年度 312	平成20年度 889	平成20年度 1,201	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 生活文化課 木暮 昭	23年度以降に向けた方向性		現状維持	
		意図	榛名地域を第二のふるさととして交流してもらおう。	平成19年度 115,996 (人)		平成19年度 14 (回)		平成19年度 (件)	平成19年度 370	平成19年度 887	平成19年度 1,274	姉妹都市提携からすでに20年以上を経過し、助成制度も一定の成果を得ているが、市民活動団体の利用が減ったため、助成券の利用も減少傾向にある。また交流事業について知らない市民も多いことから、市広報等でのPRを行っていく必要がある。		姉妹都市提携からすでに20年以上を経過し、助成制度も一定の成果を得ているが、市民活動団体の利用が減ったため、助成券の利用も減少傾向にある。また交流事業について知らない市民も多いことから、市広報等でのPRを行っていく必要がある。				
				平成19年度 (人)		平成19年度 (回)		平成19年度 (件)	平成19年度 (件)	平成19年度 (件)	平成19年度 (件)							
02-03-03	生活文化課 地域コミュニティ担当	対象	市民	平成21年度 116,579 (人)	住民基本台帳登録人口(外国人登録者を含む・1月1日現在)	平成21年度 2 (回)	産業交流事業の回数	平成21年度 (人)	平成21年度 50	平成21年度 100	平成21年度 150	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)		
	地域間交流産業交流事業	手段	ジャンボ梨コンテストでの市長賞授与や、市民みんなのまつりでの出店など、地域産業間での交流を実施	平成20年度 116,117 (人)		平成20年度 2 (回)		平成20年度 (人)	平成20年度 8	平成20年度 98	平成20年度 106	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 生活文化課 木暮 昭	23年度以降に向けた方向性		現状維持	
		意図	榛名地域を第二のふるさととして交流してもらおう。	平成19年度 115,996 (人)		平成19年度 2 (回)		平成19年度 (人)	平成19年度 (人)	平成19年度 8	平成19年度 99	平成19年度 107	榛名地域は群馬県内でも有数の農業エリアであり、農業産品を通じた交流は盛んである。特に11月に行われる市民みんなのまつりでは、榛名の農産物を待ちわびる市民が多い。しかしながら、東久留米側から発信することがあまりないのも事実である。		産業交流に関しては、榛名地域において商工会及びJA農協が存続し、活発に交流事業が展開されている現状である。榛名地域の意向を尊重して当面は継続していく。			
				平成19年度 (人)		平成19年度 (回)		平成19年度 (人)	平成19年度 (人)	平成19年度 (人)								